お客様ご相談窓口・保証とアフターサービス

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ
TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
(受付時間) 9:00~19:00(月~土)・9:00~17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ
TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
(受付時間) 9:00~17:30(月~土)・9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合があります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
なお、食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間 **お買い上げの日から１年間です。**
(ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、５年間です。)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後９年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

26～33ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **ご連絡していただきたい内容**
アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　　名	日立冷凍冷蔵庫
型　　式	R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM R-SL470CML・R-S420CM・R-S420CML (冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。)
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　　)　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ **保証期間中は**
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ **修理料金のしくみ**
修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！
こんな症状はありませんか
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- ピリピリと電気を感じる。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　(　　　)		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話 (03) 3502-2111

スリープ保存 真空チルドSL
日立冷蔵庫

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

日立冷凍冷蔵庫 家庭用

型式 R-S500CM（右開き）
型式 R-S500CML（左開き）
型式 R-SL470CM（右開き）
型式 R-SL470CML（左開き）
型式 R-S420CM（右開き）
型式 R-S420CML（左開き）

（R-S500CM型）

ご購入後、初めてお使いになるときは、冷えるまで約４時間程度かかります。夏場など暑いときは、24時間以上かかることがあります。➔P.7
収納できる食品の高さを守り、食品はすき間をあけて収納してください。➔P.13,16,20

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は**家庭用**です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・DVDとともに大切に保管してください。
「安全上のご注意」➔P.4～5をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱のDVD「上手な使いかた」では、動画でさらにわかりやすく説明しています。ぜひ、ご覧ください。

「カンタンご使用ガイド」の裏面にはってあります。
※同梱のDVDと一部表現が異なる場合があります。

保証書別添付

日本国内家庭用
Use only in Japan

機能紹介

真空チルドSL 真空の力で鮮度と栄養を守る真空チルドが、[スリープ保存]でさらに進化。

1.日立独自の真空保存システム

●真空ポンプでルーム内を真空状態にして低酸素化。
●真空ポンプによって生じる気圧差を利用して、さらに食品の酸化や変色を抑制します。

※真空とは大気圧よりも圧力が低い空間を指します。真空チルドルーム内は約0.8気圧で大気圧よりも低いので、当社では真空と呼んでいます。

2.光触媒の効果で眠らせるように保存[スリープ保存]

●光触媒の効果で炭酸ガス濃度を上げて、野菜の呼吸や、肉や魚の表面の酵素の働きを抑制し、鮮度低下を抑えます。
●光触媒は脱臭にも効果を発揮。LEDライトでルーム内も明るく見やすくなりました。

3.[オート]設定で手間なし保存

●炭酸ガスセンサーで、肉魚だけのときには氷温、野菜が入るとチルドの温度帯に自動で切り替えます。
●収納量を自動で検知して冷却スピードをアップ。まとめ買いでたくさんの食材を入れてもしっかりと冷やします。

もっと省エネ

1.フロストリサイクル冷却

●コンプレッサーを使わず霜を有効活用して効率よく冷やすので、通常冷却よりも省エネに。
運転時に冷却器に付着する霜(フロスト)は、冷却効率を低下させるため、従来はヒーターで溶かして捨てていました。フロストリサイクル冷却はこの霜の冷たさに着目、コンプレッサーを止めて霜の力で冷蔵室・野菜室を冷やします。
●各室を効率よく独立冷却
冷蔵室、冷凍室、野菜室にセンサーを設け冷気の流れをそれぞれコントロールして、各室を独立して冷却します。
●霜の水分で乾燥を抑制(冷蔵室・野菜室)
冷却器の霜の水分が冷気に加わることにより、庫内の湿度を高めて食品の乾燥を抑えます。

2.節電モード

●さらに積極的に節電したいときに、各室の温度設定を、冷却を少し弱める方向にシフトするとともに、コンプレッサーの回転数を抑えて運転します。
※節電モードでは冷却力が弱くなりますので、アイスクリームが軟らかくなるなど、冷えが弱いと感じられる場合があります。➔P.9
●冷蔵室ドアの開放時間が長く続くと(30秒以上)、冷蔵室のLEDライトと真空チルドルーム内のLEDライトの明るさを抑えて節電します。

トリプルパワー脱臭

3種類の脱臭素材の組み合わせによって、硫黄系・チッ素系・アルデヒド系・酸系の4大臭気を含む庫内のさまざまなニオイを脱臭します。また、フィルターに捕集した細菌の活動を抑制します。
脱臭フィルターには、除菌効果があります。

●試験機関:一般財団法人 ボーケン品質評価機構●試験方法:フィルム密着法(JIS Z 2801)●処理部品名:フィルター●除菌の方法:酸化触媒をフィルターに塗布●対象:フィルターに捕集した細菌●試験の結果:24時間後に99%の除菌効果。フィルター単体での性能です。庫内全体や食品に効果が及ぶものではありません。

もくじ

同梱のDVD「上手な使いかた」では、動画でさらにわかりやすく説明しています。ぜひご覧ください。

ご使用の前に

使いかた

使いかた(つづき)

お手入れ

お困りのときは・アフターサービス

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

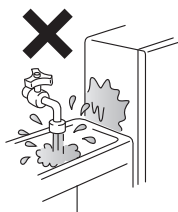
 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

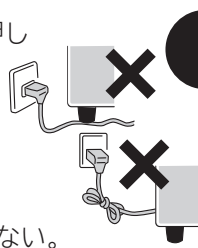
 実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

設置するとき　火災や感電、けがなどを防ぐために

●水のかかるところには設置しない。
（絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。）

●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける。
（販売店にご相談ください。）➔P.7
●地震に備えて転倒防止処置をする。➔P.7
●冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける。
冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれがあります。➔P.6

電源や電源プラグ・コードは　火災や感電、けがなどを防ぐために

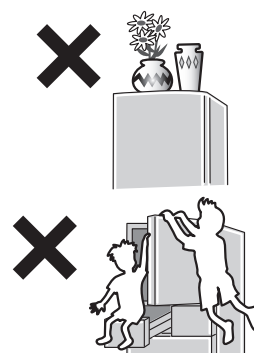
●傷付けない。（冷蔵庫で壁などに押し付けない。束ねない。重いものを載せたり、折り曲げたり、傷んだときは使用しない。）
●ぬれた手で抜き差ししない。
●コードを持って抜かない。
●タコ足配線、延長コードは使用しない。
●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

●定格15A交流100Vのコンセントを単独で使う。
●定期的にプラグを乾いた布でふく。
●コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む。
●お手入れの際は抜く。➔P.21
●長期間使用しないときは抜く。

15A・100V
単独で

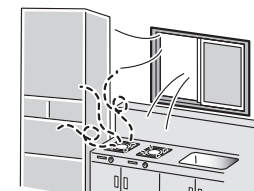
収納できないもの　厳密な温度管理が必要なものは保存できません

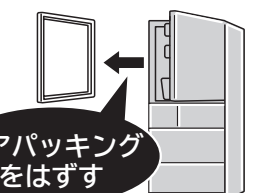
●薬品や学術試料を入れない。
●引火しやすいものを入れない。（引火・爆発する危険があります。）

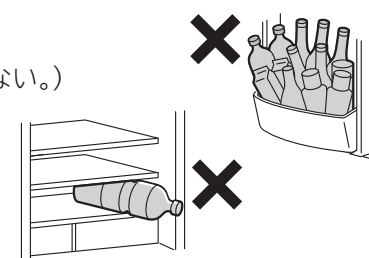
ふだん ご使用のとき　火災や感電、けがなどを防ぐために

●本体や庫内に水をかけない。
●冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない。
●可燃性スプレーを近くで使わない。
●自動製氷機の機械部には手を触れない。
●ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない。
●庫内では電気製品を使用しない。
●分解・修理・改造は絶対にしない。
●本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない。
（冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります。）

⚠警告

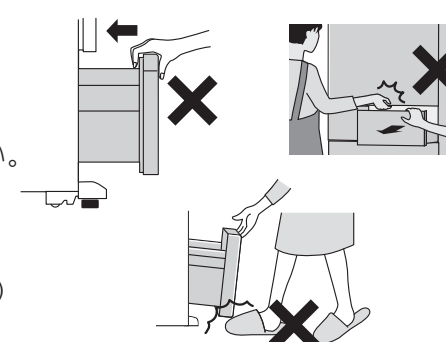
もしものとき　火災や感電、けがなどを防ぐために

●異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止して、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。
《異常・故障の例》
・電源コード、プラグが異常に熱い　・電源コードに深い傷や変形がある
・焦げくさいにおいがする　・ピリピリと電気を感じる
●可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する。
●冷却回路（側面や天面）を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する。

廃棄するとき

●リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングをはずす。
●廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す。
（放置して冷媒が漏れると、引火・爆発のおそれがあります。）

食品を収納するとき　病気やけがを防ぐために

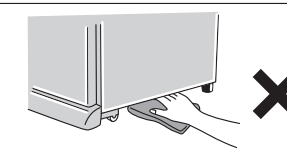
●ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない。（無理に入れない。）
●食品は棚より前に出さない。
●におったり変色した食品は食べない。
（腐敗により病気の原因になることがあります。）
●冷凍室にビン類を入れない。
●冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない。

ドアを開け閉めするとき

けがを防ぐために

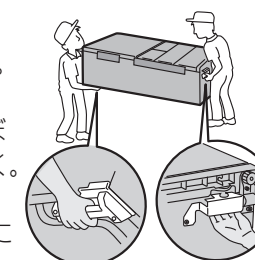
●冷蔵室ドアの上面・下面・側面を持って閉めない。
●冷蔵室ドアの取っ手に手をかけたまま引き出しドアを開閉しない。
●引き出しドアの上面・下面・側面を持って閉めない。
●最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない。
●他の人が触っているときは開けない。
●ドアを強く開け閉めしない。（食品が落下するおそれがあります。）

床に水が滴下するのを防ぐために

●長い間、ドアの隙間が続くと床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります。
扉の隙間は無いように確実にドアを閉めるようにしてください。

お手入れのとき　けがを防ぐために

●冷蔵庫底面に手や足を入れない。

移動・運搬のとき　けがを防ぐために

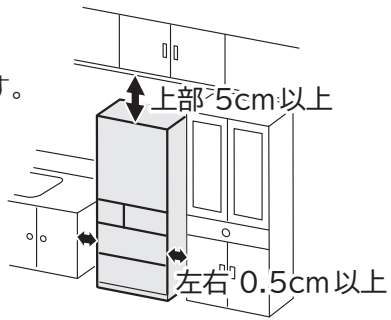
●横積み輸送はしない。
●取っ手をクレーン等で吊らない。
●ドアの取っ手を運搬時に使用しない。

●食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる。
●ドアが開かないようテープで固定する。
●床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く。
●運搬用取っ手を持って2〜4人以上で運ぶ。
●電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する。

準備する

ご使用になる前の準備

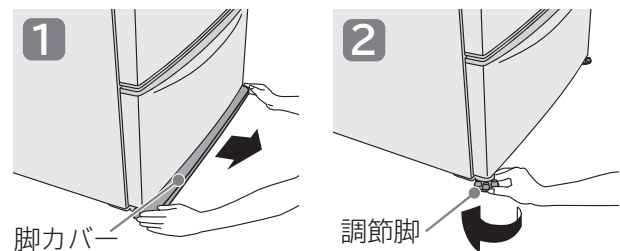
1 次のような場所に設置する

●床が丈夫で、水平なところ
じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床で変形、変色の恐れがある場合は板（1cm厚以上）を敷いてください。
●熱気・直射日光が当たらないところ
●湿気が少なく、風通しの良いところ
冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。また、変色やさびをおさえます。
●他の機器から離れたところ
テレビなどへの雑音や映像の乱れを防止します。
●効率良く冷やすために、周囲に十分な放熱スペースをあけてください。
●本体側面中央部は表示寸法より若干大きめになっています。
余裕を持って設置してください。
●背面は壁に付けられます。
振動音がする場合、または壁の変色や汚れが気になる場合は、すき間をあけてください。

上部 5cm 以上
左右 0.5cm 以上

2 冷蔵庫を固定する

●冷蔵庫前面下側の調節脚を回して固定します。

1 脚カバーの両端を持って、手前に強く引いてはずします。

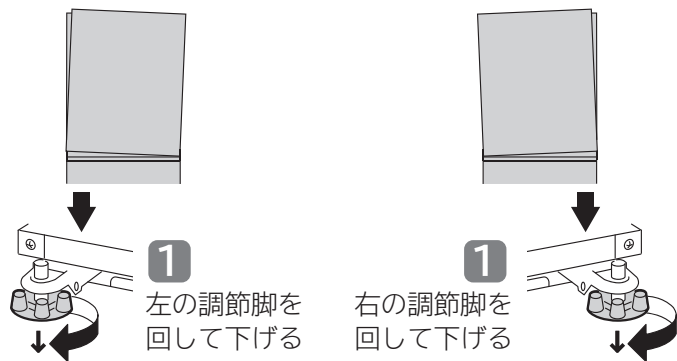
2 調節脚を回して、脚を床面まで降ろし固定します。（左右2ヶ所）

3 ドアの平行調整をする

●冷蔵庫の設置する場所が水平でなかったり、床材がやわらかくて、食品の重みが加わり冷蔵庫の脚が沈んだりすることにより、冷蔵室ドアに段差が生じる場合があります。
→機能上問題ありませんが、気になる場合は下記の手順でドアの平行調整を行ってください。
左右水平にし、冷蔵庫の前側をやや上げ気味に調整するとドアが閉まりやすくなり半ドアになりにくくなります。

1 ドアが下がっている側の調節脚を、冷蔵室ドアが平行になるように回してください。（調整脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安にしてください。）

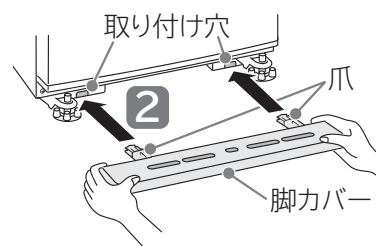
●右側が下がっている　●左側が下がっている

2 脚カバーの爪（左右）を冷蔵庫取り付け穴に差し込み、取り付けてください。

冷蔵庫本体が床になじみ、ドアが平行に直るまでに、5日程度かかる場合があります。時間が経っても直らない場合は再度調整してください。

取り付け穴
爪
2
脚カバー

●それでも傾きが直らないときは、別売品：「扉調整プレート」（部品番号 R-Y6000 500）をお使いください。
詳しくは、販売店にご相談ください。

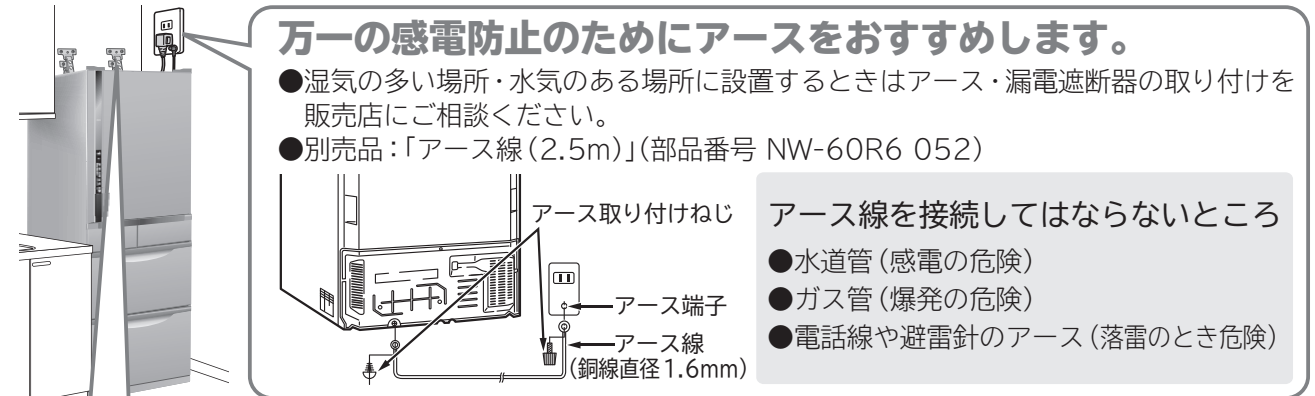
お知らせ

●冷蔵室扉を開いた状態で手を離した時、扉が動く場合がありますが、故障ではありません。

4 電源プラグを差し込む

●設置後、すぐに電源プラグを差し込んでも大丈夫です。
（電源プラグを差し込んだ後、自動製氷機や冷気フラップ、冷媒バルブの状態を確認する為に、モーターが約3分間動き続けます。通常よりモーターの音が大きく感じることがありますが、異常ではありません。）
●コンセントは単独で。（交流100V、定格15A以上）

万一の感電防止のためにアースをおすすめします。

●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。
●別売品：「アース線（2.5m）」（部品番号 NW-60R6 052）

アース線を接続してはならないところ
●水道管（感電の危険）
●ガス管（爆発の危険）
●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

地震に備えて

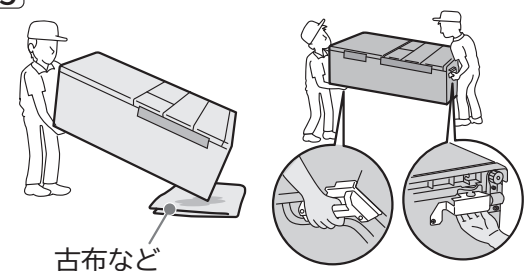
●「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」を2個ご使用いただき、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。
●別売部品：「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」（部品番号R-826CV 300：1本入り）
詳しくは販売店にご相談ください。

ネジ4本
（ベルトに同梱）
ベルト

5 庫内を冷やす

●冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに**約4時間程度かかります。**
夏場など暑いときは、24時間以上かかることがあります。
アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。
●初めて自動製氷をお使いのときは、手順に従い自動製氷機のおそうじ「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.24
●自動的に行う一連の製氷動作は庫内が十分冷えてから開始します。
（使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります。）
●使いはじめにプラスチックのにおいがする場合があります。➔ P.30

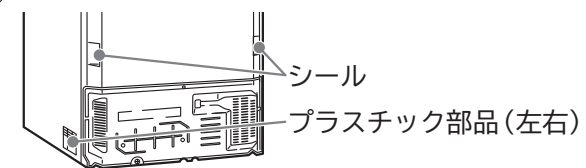
移動・運搬の準備（引っ越しをする）

●食品や氷を取り出し、給水タンク・製氷皿の水を捨てます。➔ P.24,25
●ドアが開かないようにテープで固定します。
●電源プラグを抜き、アース線を接続している場合はアース線をはずします。（移動直前で大丈夫です。）
●電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定します。
●運搬の準備や移動先では、床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷いてください。
●大きめの古布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをしてください。
●運搬用取っ手を持って2～4人以上で運んでください。
●「ご使用になる前の準備」にしたがって設置してください。➔ P.6

ご注意

●背面のシールは、はがさないでください。性能、安全性を保つためのシールです。
●側面下部のプラスチック部品をはずさないでください。

●硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。
●マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

使いかた

DVD では、動画でさらに
わかりやすく説明しています。

操作部

■設定を替えたいときは、ボタンを押して設定を切り替えてお使いください。

eco 運転サイン

●フロストリサイクル運転時などの電力量を抑えて運転しているときに点灯します。→P.33
●表示を消灯することもできます。→P.33

お知らせ表示

(操作部ロック) →P.33
●操作部の誤操作を防止できます。

給水お知らせサイン →P.19
●給水タンクの中の水が少なくなると、自動で点灯します。

真空チルドルームの設定

保存する食品にあわせて「オート」「氷温」「チルド」，全消灯（真空にしない氷温）のいずれかに設定します。
●表示を「全消灯」にしたときは、通常の氷温室としてお使いいただけます。→P.11

冷却モードを選ぶ

各部屋の冷却モードを設定します。
「急冷蔵」→P.14、「急冷凍」→P.17、
「野菜室強」→P.20（R-S420CM、R-S420CMLには、設定がありません。）

製氷モードを選ぶ

「急速製氷」「製氷」「製氷停止」のモードを選べます。 →P.18,19
●「製氷おそうじ」
製氷皿や給水路の水洗いができます。→P.24

温度設定を調節する

各部屋の温度を設定します。
通常は「中」の位置でお使いください。
冷蔵室 →P.14、冷凍室 →P.17

節電モードの設定

節電モードを設定します。
「節電」→P.9

※R-S500CMにて説明
※説明のため、全ての表示を点灯状態にしています。

こんなとき

■ (操作部ロック) などが点滅しているときは、冷蔵庫に異常があることをお知らせしています。→P.30

お知らせ

- **操作終了後、約２分後に、節電のため操作部の表示が消灯します。但し、「急冷凍」「急冷蔵」「節電」「急速製氷」表示及び給水お知らせサイン、〔eco運転サイン〕は消灯しません。**
- **設定の確認は冷蔵室ドアを開けるか、いずれかのボタンを押してください。表示が再点灯します。**
- **冷蔵室ドアを開けると表示が点灯し、閉めてから約15秒後に消灯します。**
- 全てのドアを閉じた状態で操作を行ってください。冷蔵室ドアを開放中または表示点滅中は操作部を押しても反応しません。
- ドアの開放状態が１分以上になると、ドアアラームでドアが開いていることをお知らせします。（節電設定時除く）→P.33

各室のなまえ・収納食品

冷蔵室 →P.13
約2℃～6℃
冷蔵食品
ドアポケットは少し温度が高めになります。

真空チルドルーム →P.10
約－1℃～1℃
肉・魚介類など生鮮食品
真空の力で食品に含まれる栄養素の酸化を抑え、抗酸化作用を持続させます。

製氷室 →P.18
約－20℃～－18℃
自動製氷機能でつくった氷を保存

冷凍室上段・下段 →P.16
約－20℃～－18℃
冷凍食品・アイスクリーム・乾物の保存

野菜室 →P.20
約3℃～7℃
野菜・果物・飲料

低温冷凍 →P.17
約－23℃～－20℃
通常より低温で、おいしく保存したいもの
冷凍食品のおいしさ長持ち

※温度は周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め温度が安定したときの目安値です。

「節電」モードの設定のしかた

■ 節電 ボタンを押して「節電」表示を点灯させて、「節電」モードに設定します。
「節電」モードを止めるときには、節電 ボタンを押して「節電」表示を消灯させてください。

「節電」モードは、さらに積極的に節電をしたいときにご使用ください。
「節電」モードに設定すると、

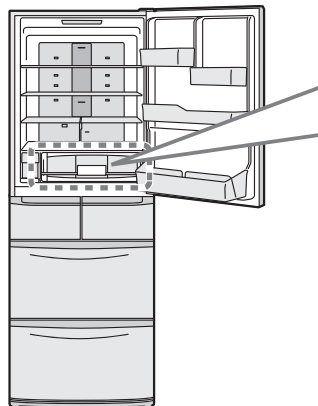
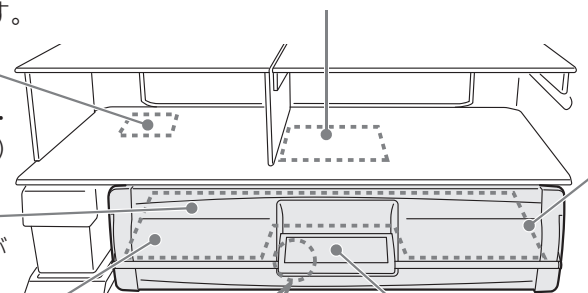
- **各室の温度設定を、冷却を弱める方向にシフトします。**
- 冷蔵室ドアの開放時間が長く続くと（30秒以上）、冷蔵室のLEDライトと真空チルドルーム内のLEDライトの明るさを抑えて節電します。

お知らせ

- 「節電」モードと「急冷凍」「急冷蔵」が同時に設定された場合、冷却は「急冷凍」「急冷蔵」を優先し、冷却を弱める運転を中断します。「急冷凍」「急冷蔵」運転終了後は、「急冷凍」「急冷蔵」表示が消灯し、冷却を弱める「節電」モードになります。→P.14,17
- 「節電」モードと「野菜室強」が同時に設定された場合、冷却は「野菜室強」から冷却を弱める方向にシフトします。→P.20（R-S420CM、R-S420CMLには、「野菜室強」設定はありません。）
- 「冷凍室」「冷蔵室」の設定温度を「弱」でお使いの場合は、食品の鮮度保持のため冷却を弱める方向にシフトせず、冷蔵室のLEDライトと真空チルドルーム内のLEDライトの明るさだけを抑えます。

ご注意

- **冷却を弱める方向にシフトするため、アイスなどがやわらかくなったり、冷凍食品に霜がつく場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。**

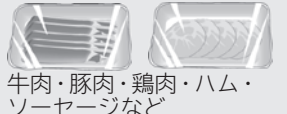
真空チルドルーム

真空解除弁（青色）
ハンドルを上げてロックをはずすと、真空解除弁により真空が解除されます。
真空が解除されるときに“シュー”という音がします。

設定と収納食品

真空

オート

食品を入れる前に「オート」に設定してください。
炭酸ガスを検知して、氷温・チルドの温度帯に自動で切り替えます。野菜が収納されると「チルド」に、野菜が収納されていないときは「氷温」に自動設定されます。

- **●肉類・加工肉**

牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど

- **●魚介類・海産物・魚の加工品**

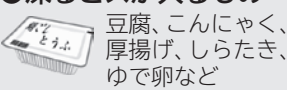
あじ・いわし・さんま・いくら・たらこ・練り物など

- **●野菜（炭酸ガスの発生量が多いもの）**

サラダなどの生野菜

チルド（約+1℃）

次のような食品は、手動で「チルド」に設定してお使いください。
※炭酸ガスの発生量が少ないため、「オート」に設定すると氷温の温度帯になり、食品が凍る場合があります。

- **●市販のカット野菜や少量の野菜、果物（炭酸ガスの発生量が少ないもの）**
オオバ・オレンジ・キウイなど
- **●凍るとスが入るもの**
豆腐、こんにゃく、厚揚げ、しらたき、ゆで卵など
- **●乳製品**
ヨーグルト・チーズなど
- **●その他**
密閉袋・容器入り野菜 コーヒー豆・茶葉など

そのほかに、インゲン・サヤエンドウ・ミニトマト・スナックエンドウ・トマト・イチゴなど

氷温（約−1℃）

肉や魚、肉魚の加工食品の保存に適しています。
また、冷凍した肉魚を解凍するときも設定してください。
水分の多い食品は凍る場合があります。

真空切

全消灯（氷温）（約−1℃）

真空機能・光触媒機能は働きません。収納に注意が必要な「密封袋」「密閉容器」を収納する場合におすすめします。通常の氷温室のため、水分の多い食品は凍る場合があります。

収納に注意が必要な食品・容器

●密封袋入り食品
収納中に袋が膨らみ、他の食品をつぶすことがありますのでご注意ください。

ウインナーソーセージ・袋入りチーズなど

●プラスチック密閉容器
ふたが浮いたりずれることがあります。取り出すときにご注意ください。

収納に適さない食品

●低温に弱い野菜
低温に弱く表面がくぼんだり、変色することがあります。

なす

きゅうり

おくら・アスパラガス・生姜・ピーマン

お知らせ

●食品はラップをしても真空による効果は変わりません。

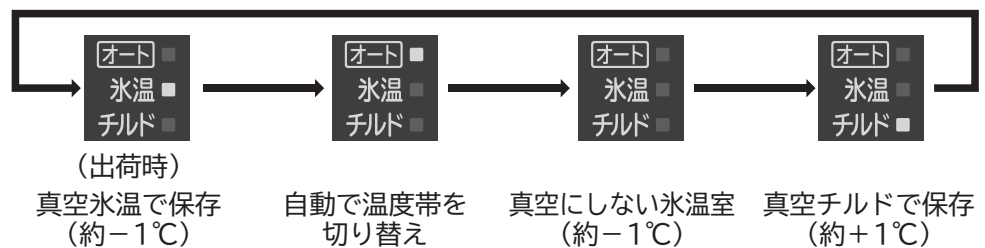
ご注意

●周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍ることがあります。
●食品の鮮度や量により炭酸ガスセンサーが検知しない場合があります。その際は「氷温」に切り替わり、食品が凍ることがあります。
●冷蔵室の温度設定を「強」または「弱」にしますと、真空チルドルームの温度も多少変動します。

真空チルドルームの設定のしかた

■ 真空チルド ボタンを押して「オート」「氷温」「チルド」，全消灯（真空にしない氷温）のいずれかに設定してお使いください。
押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。

（出荷時）
真空氷温で保存（約−1℃）

自動で温度帯を切り替え

真空にしない氷温室（約−1℃）
（真空ポンプの運転と光触媒機能を停止します。）

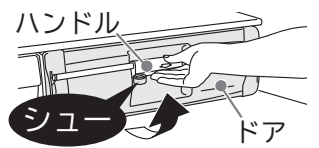
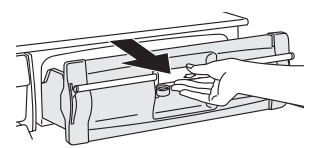
真空チルドで保存（約+1℃）

お知らせ

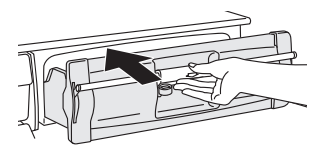
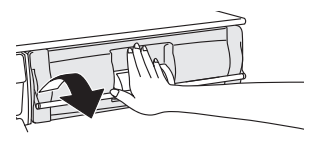
● 操作部の詳しい使いかたは →P.8
● 「オート」に設定した直後は、炭酸ガスセンサーで食品の種類を確認するまではチルド（約+1℃）の温度設定となっています。
● 「オート」に設定（切り替え）したときは、炭酸ガスセンサーが安定するまでに約40分かかります。その間に食品を収納しても、炭酸ガスの検知ができません。

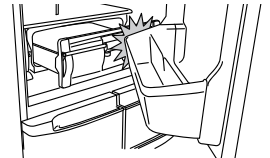
ドアを開ける 閉める

開けるとき

ドアのハンドルに下から手を掛けて、引き上げてロックをはずします。

“シュー”という音が消えてから手前に引き出します。

お知らせ
●“シュー”と音が聞こえている間はドアは引き出せません。

閉めるとき

ハンドルに手を当てて奥まで押し込みます。

ハンドルを最後までしっかり下げてドアをロックします。

お知らせ
●ハンドルを最後までしっかり下げないと真空チルドが正常に動作しません。
●ハンドルが重いときは、手のひらで押し下げてください。

ご注意

●冷蔵室ドアを閉めるときには、真空チルドルームのドアを閉じてロックしてください。真空チルドルームが開いたまま冷蔵室ドアを閉めると、ダブルポケットや真空チルドルーム、食品を破損することがあります。

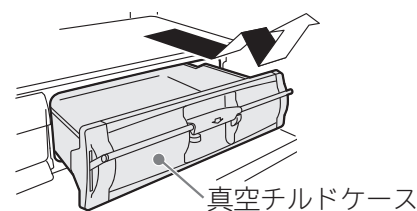
お知らせ

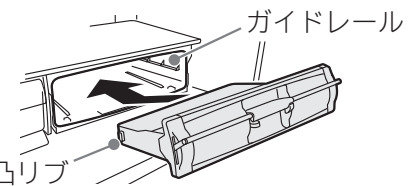
●真空チルドルームのドアを閉め、ハンドルをロックし、冷蔵室ドアを閉じると真空ポンプが動作します。
●炭酸ガスの検知のため冷蔵室ドアを閉じた後、真空ポンプは断続的に動作します。
●真空ポンプが動作してから真空状態になるまでに、約4分かかります。4分以内に真空チルドルームのドアを開けても“シュー”と音がしない場合がありますので、真空状態の確認は4分以上待ってから行ってください。
●動作中はブーンという音や振動が起こりますが異常ではありません。
●ハンドルのロックがしっかりされていないと、真空にならないだけでなく「オート」機能も正常に動作しません。
●真空チルドルームは間接冷却のため、他の部屋と比べて食品が冷えるまでに時間がかかります。

真空チルドルーム ～つづき～

お手入れする

■真空チルド内に収納されている食品は必ず取り除いてください。

1

ドアを手前に引き出し、真空チルドケース（ドア付）の手前を軽く持ち上げて上下に動かしながら引き出します。

3

真空チルドケース（ドア付）左右の凸リブを真空容器のガイドレールの下に滑らせるように入れてください。最後にハンドルを下げてロックしてください。

2

アルミトレイ　真空容器　パッキン受け部　真空パッキン

真空パッキンやアルミトレイ、真空容器の内側やパッキン受け部を、やわらかい布にぬるま湯を含ませて、ふいてください。

ご使用時のお願い

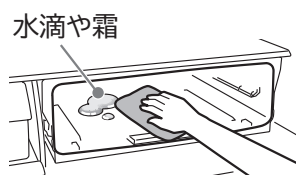
真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に水滴や霜がつくことがあります。

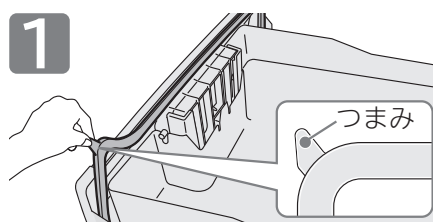
●水滴や霜がついた場合は、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。

●ルーム内に水や食品汁をこぼした場合は、すぐにふき取ってください。

※水滴や霜がついても性能には支障ありません。

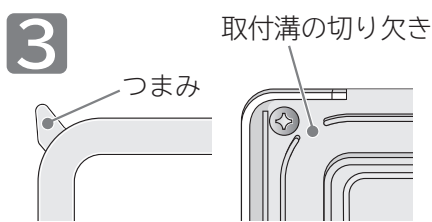
ご注意

●ルーム内天井のガラス（光触媒＆LEDライト部分）は、指で触ったり、乾いた布でこすったりしないでください。汚れがついた場合には、濡らした綿棒などでやさしく取り除いてください。→P.10

真空パッキンの汚れがひどいときは

1

向かって右上の真空パッキンのつまみに手をかけてていねいにはずします。

2

汚れた部分を柔らかいスポンジなどで水洗いし、乾いた布などで水気をふき取り、自然乾燥してください。チルドドアの真空パッキン取付溝の汚れをふき取ってください。
※洗剤は使用しないでください。

3

真空パッキンのつまみを取付溝の切り欠きに合わせてしっかりと取り付けてください。

ご注意

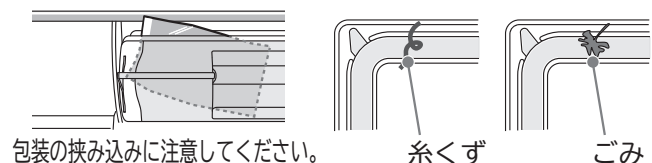
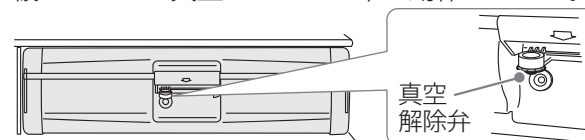
●真空パッキンは、ぬるま湯以外の洗剤などを使用すると、破損・変形・変色し、真空状態を保てなくなることがあります。
●真空パッキンの緩みや真空チルドドアのがたつきがあると真空状態を保てなくなります。

お知らせ

■「オート」・「氷温」・「チルド」のいずれかの表示が点滅するときは、真空機能が正常に動作していないことがあります。次のことを確認してください。→P.31

表示点滅　オート　氷温　チルド　真空チルド

●真空パッキンや真空解除弁（青色）に食品の包装などが挟まったり、汚れや糸くず、ごみが付着すると真空チルドが正常に動作しません。

●真空パッキンや真空解除弁（青色）がはずれてたり、緩んでいると真空チルドが正常に動作しません。

真空解除弁

●真空チルドでお困りの時は→P.31
●真空パッキンが古くなり、真空状態を保てなくなったら交換してください。→P.35

冷蔵室

ご注意

●温かい食品は、冷気温度が低い上段の棚に収納してください。温度センサーの近くに入れると、冷蔵室温度が下がりすぎる場合があります。

ご注意

●卵スタンドの横に背の高い食品を入れる際はドアを勢いよく開け閉めすると食品が倒れ、卵が割れる恐れがあります。

冷気吹き出し口　**ご注意**　●温度が低くなるので、水分の多い食品や缶飲料は近くに置かないでください。凍結したり破裂する恐れがあります。

DVDでは、動画でさらにわかりやすく説明しています。

冷蔵室の温度を調節する

■ 冷蔵ボタンを押して設定温度を調節します。
押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。

※周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの冷蔵室の目安温度です。

●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
●操作部の詳しい使いかたは→P.8
●温度をさらに細かく調節するときは→P.32

お知らせ

●温度設定「強」または「弱」にしますと、真空チルドルームの温度も多少変動します。
●ドアポケットは、左記の温度より若干高めになります。

食品を急いで冷やす（急冷蔵）

1 急冷蔵コーナーに食品を置く

R-S500CM・R-S500CML
R-SL470CM・R-SL470CML

R-S420CM・R-S420CML

2 冷却モードボタンを押して「急冷蔵」表示を点灯させる※

※「急冷蔵」設定後は、「急冷蔵」以外の表示が約2分後に消灯します。

3 約50分で「急冷蔵」運転を自動終了し、「急冷蔵」表示が自動消灯します

途中で止めるときは他の表示を再点灯させてから冷却モードボタンを押して表示を消灯させる

※R-S420CM・R-S420CMLには、「野菜室強」設定はありません。

●中央部奥に置くとより早く冷えます。（冷気吹き出し口前）
●水分の多い食品や缶飲料は背面からはなして置くか、別の棚に移動してください。凍結したり、破裂することがあります。

お知らせ

●「急冷凍」（→P.17）や「急速製氷」（→P.19）と同時に使用している時など冷蔵庫の運転状態によって効果が弱くなる場合があります。

棚の高さをかえる

■食品や飲料の大きさにあわせて棚の位置を簡単にかえることができます。
棚を移動するときは棚の上の食品を取り除いてから行います。

■高さかわるん棚上段・高さかわるん棚中段

1 棚の奥を少し持ち上げて、手前に引き出してはずす。

2 お好みの高さに合わせ、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げて押し込む。
（棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける）

■高さかわるん棚下段

1 棚を少し持ち上げてはずす。　2 ひっくり返して　3 上側または下側にセットする。

標準　パターン1（上段）

パターン2（下段）

※R-SL470CM・R-SL470CMLは、2 の位置で出荷しています。

ドアポケットの高さをかえる

■食品や飲料の大きさにあわせてドアポケットの位置をかえることができます。
収納されている食品は必ず取り出してから調整します。

■高さかわるポケット（右）（左）

（R-S500CM・R-S500CML・R-S420CM・R-S420CMLのみ）

入れるものに合わせて、調整できます。

1 ポケットを片手で固定し、底面の左右を軽くたたきながら持ち上げてはずす。
2 お好みの高さに合わせ、最後までしっかり入れる。（固めに固定してあります。）

ご注意

●冷蔵室ドアを閉めるときは、真空チルドケースを押し込んだ状態でドアを閉めてください。
引き出した状態でドアを閉めると、ドアやケース、食品が破損することがあります。
●開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは庫内の壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。
●水や食品汁をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。

冷凍室

冷凍室上段をつかう

■急いで凍らせる急冷凍機能があります。→P.17
・肉や魚を急いで冷凍するときにお使いください。

●冷凍室上段の温度調節方法は →P.34

冷凍室下段をつかう

■3段ケースでたっぷり収納できて、スッキリ整理ができます。
長く保存するものや、溶けやすいアイスクリームなどの収納に適しています。

●冷凍室上段のアルミトレイを薄物ケース左側に移動すると、急冷凍コーナーとして使用できます。
※たて収納コーナーは、R-S420CM・R-S420CMLにはありません。

製氷室（自動製氷機）のつかいかたは →P.18

食品を収納するときのご注意

■各ケースに収納する食品の高さに注意してください。
・ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースを破損することがあります。
・上の薄物ケースや小物ケースに食品がさわらないようにしてください。

高さの目安

●薄物ケースに500mLのペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。
●薄物ケースおよび小物ケースをはずしたまま使用しないでください。ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。

●たて収納コーナーに背の高い食品を収納する場合は、薄物ケースや小物ケースに当たらないように注意してください。
●冷凍専用ペットボトルなど、凍らせてもよい食品のみ収納してください。
※たて収納コーナーは、R-S420CM・R-S420CMLにはありません。

冷凍室の温度を調節する

■ 冷凍 ボタンを押して設定温度を調節します。
押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。

※周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの冷凍室の目安温度です。
注：通常冷凍より低温で保存します。
通常の冷凍運転と比べ消費電力量が約2割程度多くなります。

●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
●操作部の詳しい使いかたは →P.8
●温度をさらに細かく調節するときは →P.32

お知らせ
●「急冷凍」運転時は、左記の温度よりさらに低めの温度になります。
●「強」で長時間ご使用になると、アイスクリームなどが固くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。

あたたかい食品を急いで凍らせる（急冷凍）

1 冷凍室上段のアルミトレイの上にラップをした食品をおく

2 冷却モード ボタンを押して「急冷凍」表示を点灯させる※

※操作終了後は、「急冷凍」以外の表示が約2分経過すると消灯します。

「急冷凍」運転中は点灯 その他の表示は消灯※

3 約120分で「急冷凍」運転を自動終了し、「急冷凍」表示が消灯します

途中で止めるときは 冷却モード ボタンを押して「急冷凍」表示を消灯させる

※R-S420CM・R-S420CMLには、「野菜室強」設定はありません。
●「急冷凍」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、特に冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
●あたたかいごはんなどをそのまま冷凍することができます。熱い食品を入れる場合は、やけどをする可能性がありますので、ご注意ください。60℃以下まで冷ましてから入れることをおすすめします。
●「急冷凍」運転終了後の約60分間は、再度 冷却モード ボタンを押しても、表示は点灯しますが、運転は行いません。約60分経過してから運転を行います。
●食品がアルミトレイにはりつくことを防ぐため、必ずラップをしてください。
●食品は薄く小分けにすると、中心まで速く凍るだけでなく、取り出しやすく便利です。

お困りのときは

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
よく冷えない 霜、露がつく アイスがやわらかい	●ドアをひんぱんにあけていませんか？ →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくすることをおすすめします。 ●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でドアパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納できる食品の高さを守り、ドアの開閉に影響しない量を収納してください。 →食品はすき間をあけて収納してください。 ●上段フリーザーケース、薄物ケースが正常に取り付けられていないと半ドアになることがあります。 →きちんと取り付けられているか確認してください。→P.23 ドアパッキングにすき間が発生している状態

ご注意 ●ひんぱんにドアを開閉すると食品の温度が上がり、アイスなどはやわらかくなる場合があります。

お知らせ ●ドアを開閉したときに、空気中に含まれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。

製氷室（自動製氷機）

DVDでは、動画でさらにわかりやすく説明しています。

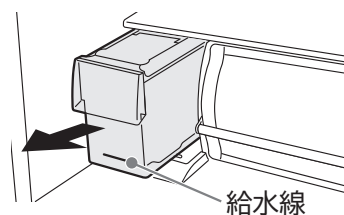
※R-S500CMにて説明

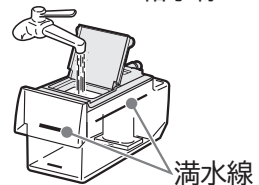
氷をつくる（製氷）

1 自動製氷機の設定

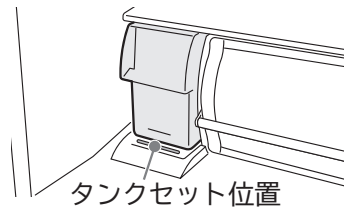
 ボタンを押して「製氷」を点灯させます。

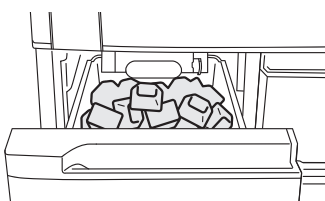
2 給水タンクを取り出す。

給水お知らせサインが点灯するか、水が「給水線」に近くなったら水を補給する。

3 ふたを開けて水を入れる。

「満水線」まで入れる。

4 給水タンクをもどす。

「タンクセット位置」の線を越えるまでしっかりと押し込む。

※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

初めて氷をつくるとき、1週間以上氷をつくらなかったときは、「製氷おそうじ」をしてください。 ➔P.24

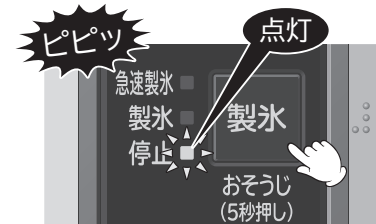
5 自動で製氷運転を開始し、製氷ケースに氷が保存されます。

お知らせ

初めてお使いのときは、最初の氷ができるまでに**24時間以上**かかることがあります。ふだんは2～3時間で氷ができます。

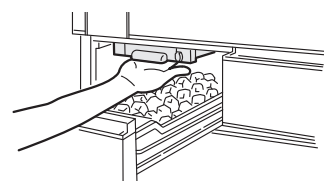
氷をつくらない（製氷停止）

自動製氷機の設定

製氷 ボタンを押して「停止」を点灯させると、自動製氷を停止し氷をつくりません。

※「停止」に設定すると給水お知らせサインは点灯しません。➔P.19

しばらく製氷を停止する場合は自動製氷機のお手入れをしてください。➔P.24,25

⚠警告

●自動製氷機の機械部には手を入れない。
（製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。）

急いで氷をつくる（急速製氷）

製氷 ボタンを押して、「急速製氷」を点灯させます。

「製氷」運転より、製氷時間が短くなります。

※約7時間後に自動で「製氷」に切り替わります。

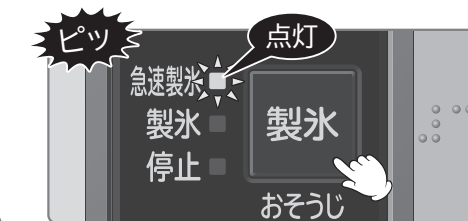
給水お知らせサイン

給水タンクの水が少なくなると、自動的に給水お知らせサインが点灯し、お知らせします。このときは、給水タンクに水を補給してください。

ご注意

●給水タンクに水があっても、給水タンクがしっかりと押し込まれていないと、給水お知らせサインが点灯します。このようなときは、給水タンクをしっかりと押し込んでください。

お知らせ

●給水お知らせサインが点灯中に冷蔵室ドアを開閉すると、給水お知らせサインは最大3時間消灯しますが、水が補給されない場合は再び点灯します。
●自動製氷機の設定が「停止」のときは給水お知らせサインは点灯しません。

お知らせ

●操作終了後、約2分後に節電のため操作部の表示が消灯します。但し、「急冷凍」「急冷蔵」「節電」「急速製氷」表示及び給水お知らせサイン、〔eco運転サイン〕は消灯しません。➔P.8
●製氷 ボタンを押すごとに、「製氷」→「急速製氷」→「停止」→「製氷」→…の順に切り替り、表示と操作音で設定の状態をお知らせします。
●製氷停止することにより、自動製氷での動作音（離氷・給水等）を止めることができます。

製氷時間と氷の収納量

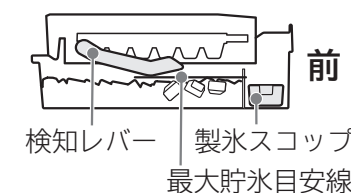
運転状態	1回の製氷時間
通常運転	約110分～140分
急速製氷	約70分～80分

状態	製氷ケースの氷の収納量	
	R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM・R-SL470CML	R-S420CM・R-S420CML
通常状態	約120個	約90個
氷を手前にならした状態	約150個	約130個

※R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM・R-SL470CMLの1回の製氷個数は12個です。
※R-S420CM・R-S420CMLの1回の製氷個数は8個です。
※周囲温度30℃、各室温度設定「中」、ドア開閉なしのとき

●次のようなときは、氷ができるまで時間が長くかかります。
・初めてお使いのとき（24時間以上かかることがあります）　・「節電」モードに設定しているとき
・ドアの開け閉めが多いとき　・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき　・停電があったとき
・冬場など周りの温度が低いとき　・製氷皿のお手入れをしたあと　・冷凍室や製氷室が半ドアになっているとき

お知らせ

●氷の量は自動製氷機の貯氷量検知レバー（通常は見えません）が自動的に検知します。氷が一定量になると製氷を自動停止し、少なくなると製氷を再開します。
●最大貯氷目安線は、氷をたいらにならして製氷したときの貯氷量の目安線です。氷が部分的にたまると、早期に検知レバーが氷に当たり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。

お願い

●自動製氷設定時は、製氷ケースには、氷以外の冷凍食品などを入れないでください。
（氷ができなくなったり、食品が製氷機の部品に当たり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります。）
●製氷室の扉は、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、製氷ケースから氷がこぼれ、冷凍室下段に落ちることがあります。

冷凍食品が奥に入っていませんか？

製氷スコップが奥に入っていませんか？

●水道水での製氷をおすすめします。1週間に1回以上給水タンクを水洗いしてください。➔P.24
●ミネラル成分の多い水でつくった氷を水に入れると、白い浮遊物（ミネラル成分）がでることがありますが、害はありません。水道水以外は、雑菌が繁殖しやすくなるため、3日に1回以上の頻度を目安に給水タンクを洗ってください。
●故障や、変形、氷がつながるなどの原因になりますので、水以外のものを使用しないでください。

○

ミネラルウォーター（硬度：100mg/L以下）

浄水器の水

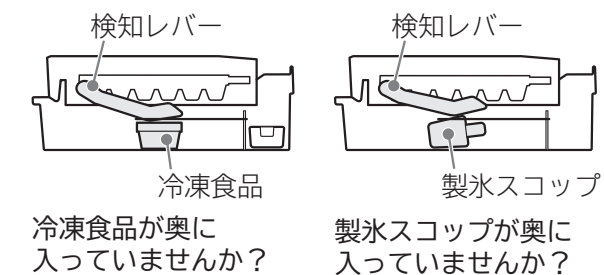
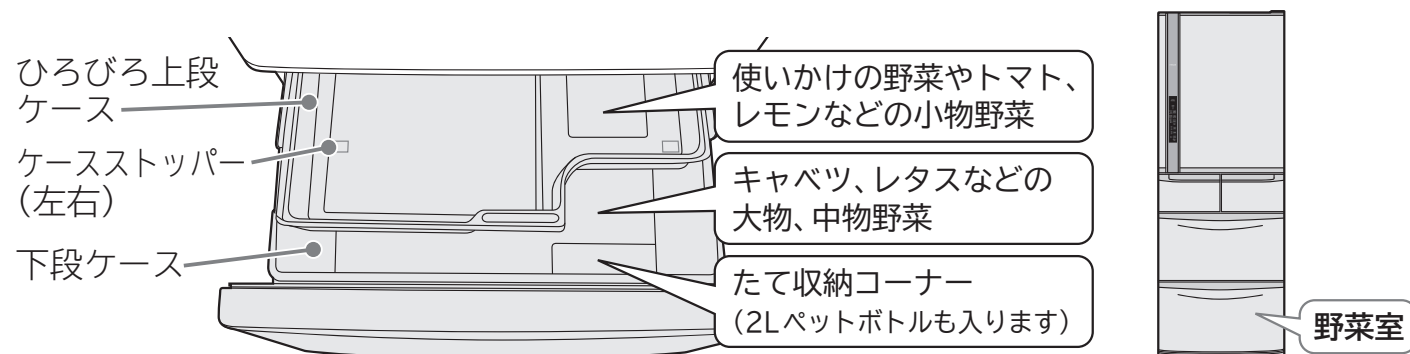
井戸水（水質基準を満足するもの）

×

ジュース類

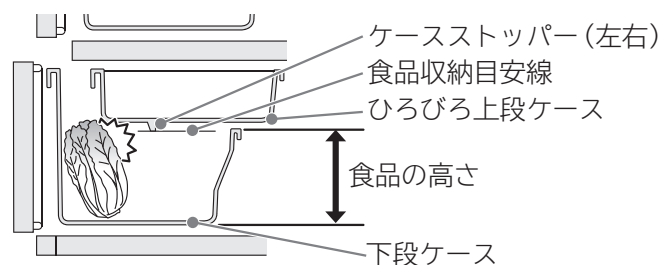
スポーツドリンク

炭酸飲料

お茶

野菜室

ひろびろ上段ケース・下段ケースをつかう

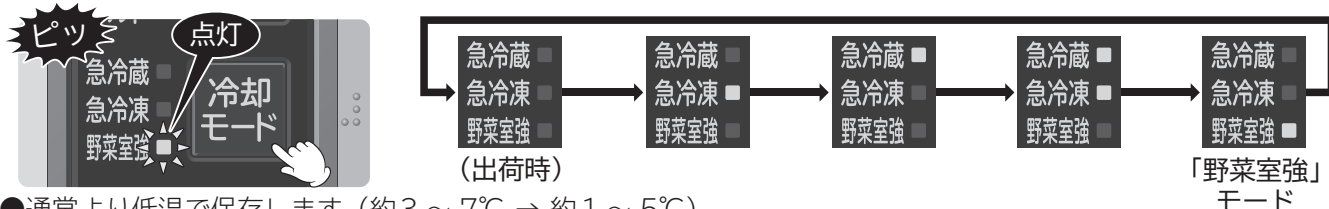
■冷気を直接野菜に当てずに、やさしくしっかり冷やします。野菜の乾燥を抑えます。

■こんなときには野菜にラップを

- ●長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるとき
- ●使いかけの野菜や果物を保存するとき
- ●野菜が少ないときや、包装された野菜が多いとき
- ●野菜室内の結露が気になるとき

ご注意

● 食品収納目安線より上に食品が出ないように注意してください。
・ドアが完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。　・食品や各ケースを破損することがあります。

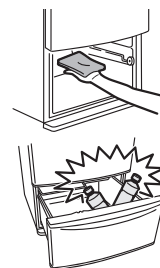
より冷やしたいときは（野菜室強）

■ 冷却モード ボタンを押して「野菜室強」表示を点灯させて、「野菜室強」モードに設定します。
（R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM・R-SL470CML）
押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
設定は設定を変えるまで継続されます。
「野菜室強」モードを止めるときには、「野菜室強」表示を消灯させてください。

●通常より低温で保存します。（約3 ～ 7℃ → 約1 ～ 5℃）
※周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの野菜室の目安温度です。

お知らせ

- ●「野菜室強」で長時間ご使用になると、水分の多い野菜などは凍ることがあります。
- ●「野菜室強」と「急冷凍」「急冷蔵」の同時設定はできません。
「野菜室強」モード設定中に「急冷凍」「急冷蔵」に切り替えた場合、「急冷凍」「急冷蔵」運転が自動終了しても、自動的に「野菜室強」モードにはなりません。再度設定してください。
- ●「野菜室強」モード設定中に「節電」モードを設定した場合、冷却は「野菜室強」から冷却を弱める方向にシフトします。→P.9

ご注意

- **●野菜室は湿度が高いため、野菜の量や種類によっては、ひろびろ上段ケースや野菜室天井に結露します。水がたまると食品が傷みやすくなるので、乾いた布でふき取ってください。**
- ●ペットボトルの種類により、収納できない場合があります。
また、ペットボトルのキャップを確実に閉めないと収納できない場合があります。
- ●外気温が低いときは、ケース内の温度が低くなる場合があります。
- ●野菜室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、たて収納コーナーの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。

庫内・庫外のお手入れ

⚠警告　●お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

汚れに気づいたら

- **●すぐにふき取りましょう。**
見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。
- ●やわらかい布にぬるま湯を含ませてふいてください。
汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。
使用できない洗剤がありますので、このページの ご注意 をご覧ください。
- ●部品をはずすときは、あらかじめ食品を取り出しておいてください。

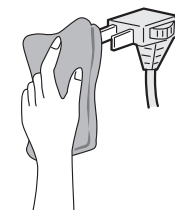
ご注意　●ケース類や引き出しレールの可動接触面には潤滑剤が塗られているのでふき取らないでください。
（潤滑剤は食品衛生法に適合しています。）

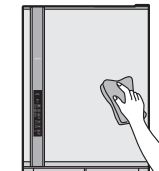
電源プラグ

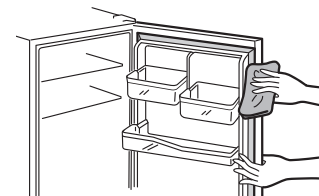
●電源プラグについたほこりをそのまま放置すると火災の原因になります。年に１回はお手入れをしてください。

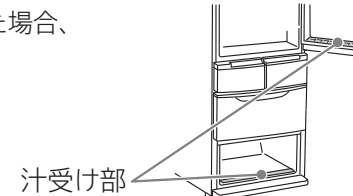
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 点検する。
・コードに傷はありませんか？
・電源プラグが熱くなっていませんか？
3. ホコリなどを取り除き、乾いた布でふく。
4. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。

操作部

- ●操作部はやわらかい布で、からぶきしてください。
- ●水をかけないでください。
故障の原因になります。

ドア表面

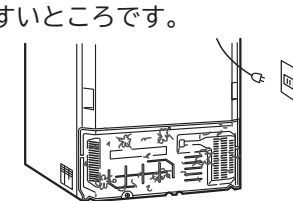
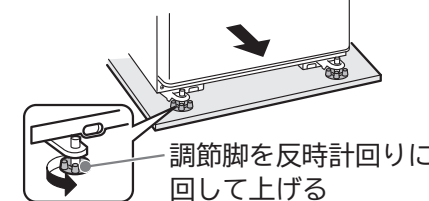
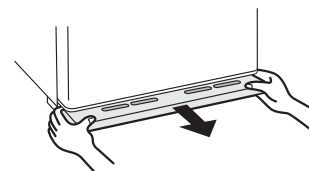
●ドア表面は、少し湿らせた柔らかい布で拭いたあと、水分が残っていたら乾いた布で仕上げてください。
（水分や食品の汚れがドア上下の化粧ピースの隙間に入ると、さびが発生するおそれがあります。）

ドアパッキング

●汚れやすいところなので、よくふき取ってください。

汁受け部

●汁が溜まったり汚れた場合、ふき取ってください。

冷蔵庫背面・床

1 脚カバーを手前に引っ張ってはずす。
取り付けは、正面から押し込む

2 調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す
キズの付きやすい床では、保護用の板などを敷く

3 背面・壁・床の汚れをふき取る
背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。

ご注意　ドア、塗装面やプラスチックを傷めたり、変色させたりする場合があります。

- ●次のものは使わないでください。
・アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、磨き粉、粉石けん、石油、熱湯、たわし、酸、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤など（洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。）
- ●食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際には、その注意書きに従ってください。
- ●マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

部品のはずしかた

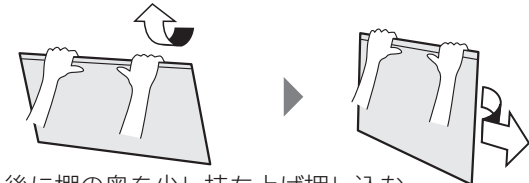
DVDでは、動画でさらにわかりやすく説明しています。

ご注意
●部品をはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
●ここで説明している部品以外は、はずさないでください。
説明していない部品をはずして掃除をしたいときなどは、エコーセンターにご相談ください。→P.36

高さかわるん棚上段・高さかわるん棚中段

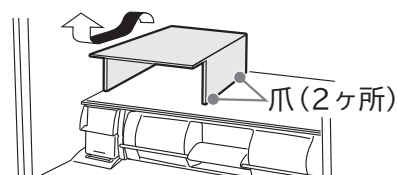
1 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。

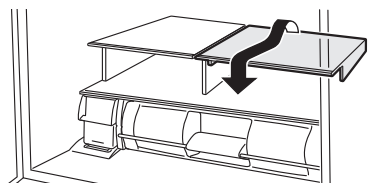
棚の爪

2 図のように棚を立てた後に回転させて取りはずす。

取り付けは、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込む。
（棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける）

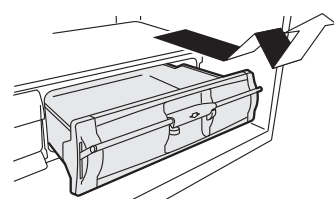
ご注意 棚をそのまま引き出すとドアを傷つける場合があります。

固定棚

●手前に引き出して右下の爪２ヶ所をはずして取りはずす。

高さかわるん棚下段

●少し持ち上げてはずす。

真空チルドケース（ドア付）

●ドアを手前に引き出し、真空チルドケース（ドア付）の手前を軽く持ち上げて上下に動かしながら引き出します。

詳しくは →P.12

野菜室（ひろびろ上段ケース・下段ケース）

1

●ドアを手前いっぱいに開け、図のようにひろびろ上段ケースを引き上げる。

2

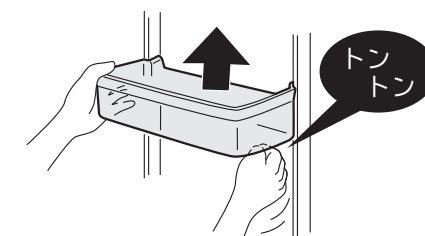
●ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾ける。
3で下段ケースがはずせない場合は、ドアをはずしてから下段ケースをはずしてください。
ドアのはずしかたは →P.23

3

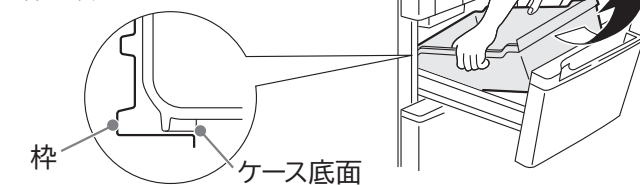
●下段ケースを手前に持ち上げる。
●取り付けの際は、下段ケース左右奥側の突起を枠の角穴に入れ、下段ケースのふちを枠の上に乗せるようにセットする。

ドアポケット

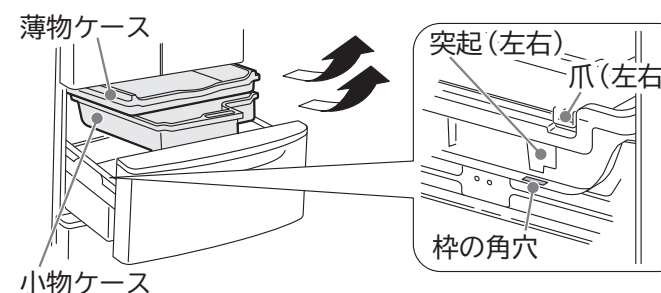
●底面の左右を軽くたたきながら持ち上げてはずす。
（固めに固定してあります。）

取り付けは、最後までしっかり入れる。

製氷室・冷凍室上段

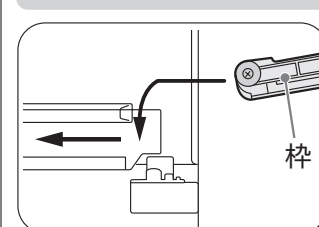
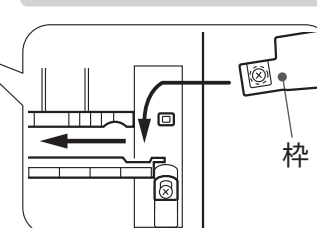
●ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる。

取り付けは、ケース底面を枠に載せてセットする。

冷凍室下段（薄物ケース・小物ケース・大物ケース）

1 ドアを開け、薄物ケース・小物ケースをそれぞれ引き出す。

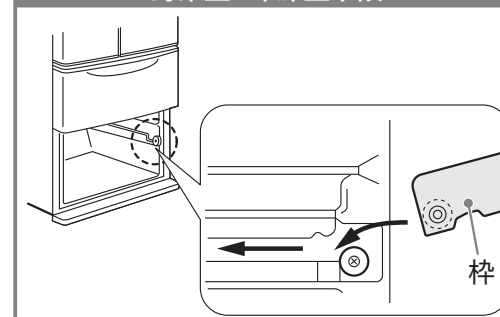
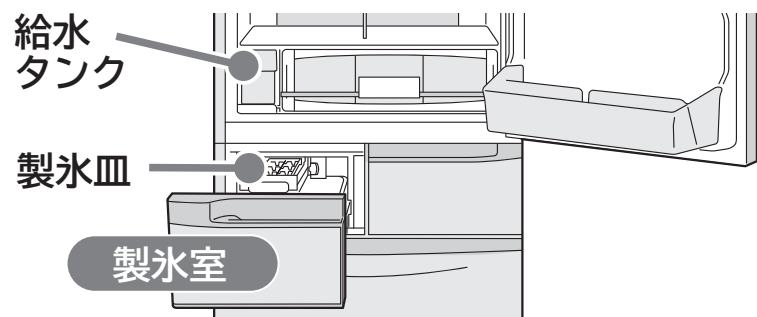
2 大物ケースを手前に持ち上げる。

取り付けは、大物ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットする。
また、小物ケース左右の爪を大物ケースの外側にセットする。

■引き出しドアのはずしかた・取り付けかた

製氷室・冷凍室上段

野菜室・冷凍室下段

自動製氷機のお手入れ

DVDでは、動画でさらにわかりやすく説明しています。

⚠警告

●自動製氷機の機械部には手を入れない。
（製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。）

初めてお使いのとき ／ １週間以上使わなかったとき

給水路を水洗いする（製氷おそうじ）

製氷皿や給水路を水洗いできます。

操作の前に、次のことをご確認ください。

●給水タンク
・水が入っている。
・タンクセット位置を越えて正しくセットされている

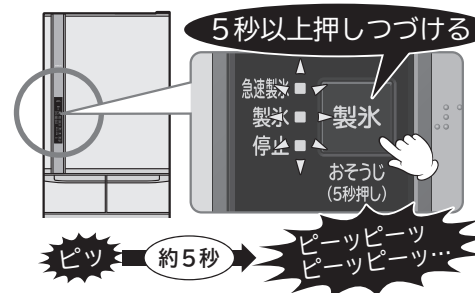
●製氷ケース
・氷が残っている場合は取り除いてください

確認したら、次の操作をしてください。

1 製氷ケースの底にきれいなタオルなどを敷く。

製氷おそうじのときに出る水が製氷ケースの奥にある切りかき部分からこぼれないように吸収させるためです。

2 全てのドアを閉めてから表示を点灯させて 製氷 ボタンを５秒以上押しつづける。

「急速製氷」「製氷」「停止」の３つの表示が点滅し、アラームが鳴り出したら指を離してください。「製氷おそうじ」がスタートします。
・約３分間表示が点滅し、アラームが鳴りつづけます。
・「製氷おそうじ」は、途中で中止することはできません。
・「製氷おそうじ」中に冷蔵庫のいずれかのドアを開けると、正常に動作しない場合があります。終了するまですべてのドアの開閉を行わないでください。
・ドアアラームを鳴らないように設定しているときでもアラームは鳴ります。→P.33

3 約３分後、アラームと表示点滅が終わったら、製氷ケース内の水をタオルなどと共に取り除き、きれいにふき取る。

給水タンクに残った水は、そのまま製氷にお使いいただけます。

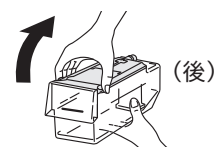
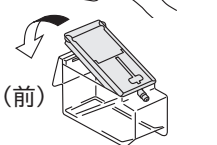
（ケースを取りはずす際は、あらかじめケース内の水をふき取ってください。）

週に１回お手入れする

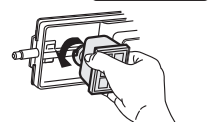
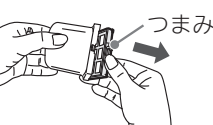
給水タンク

塩素を含まない水は、水道水に比べ水アカ・ぬめりが発生しやすくなりますので、雑菌の繁殖を防止するために定期的に水洗いしてください。
●パッキングはふたからはずし、やわらかいスポンジで水洗いしてください。

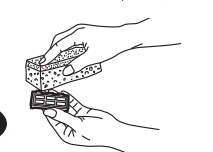
●ふたの開けかた

●ふたの閉めかた
ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。

浄水フィルター

（交換の目安は約3～4年）→P.35

1 ケースをまわしてふたからはずす。

2 浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってケースからはずす。

3 やわらかいスポンジなどで水洗いする。

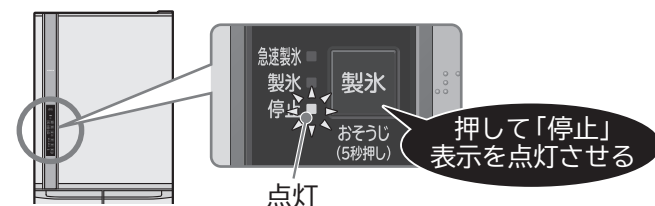
洗剤などは使わないでください

お知らせ

●ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど（塩素を含まない水）は３日に１回お手入れをしてください。

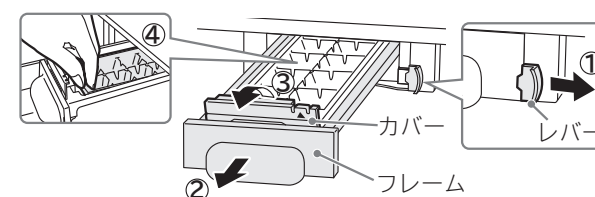
年に１回お手入れする

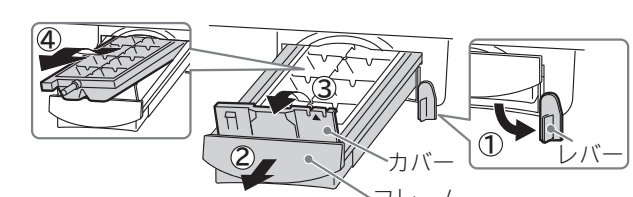
製氷皿

1 製氷皿への給水を止めるため 製氷 ボタンを押して、「停止」表示を点灯させてください。（製氷停止）

※「停止」表示が点滅したときは、約１分間待って「停止」表示が点灯に変わってから、次の操作をしてください。

2 製氷室のドアを開ける。

R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM・R-SL470CML

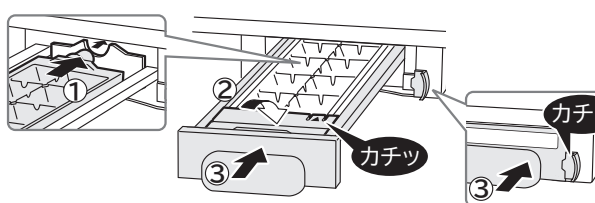
①レバーを横に押す。
②フレームを引き出す。
③カバー（▲部）を手前側に起こす。
④フレームから製氷皿を取りはずす。

R-S420CM・R-S420CML

① レバーをおろす。
② フレームを引き出す。
③ カバー（▲部）を手前側に起こす。
④ フレームから製氷皿を取りはずす。

3 製氷皿を空にして、流水で軽く洗い流す。

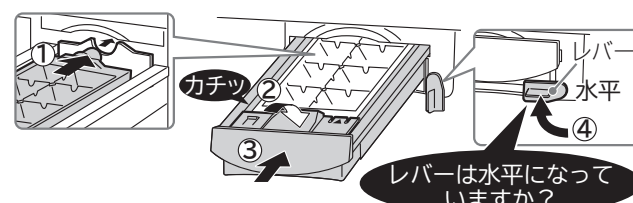
スポンジ・クレンザーなどは使わないでください

4

R-S500CM・R-S500CML・R-SL470CM・R-SL470CML

① 製氷皿をセットする。
② カバーを閉じる。
③ フレームを水平にして、レバーがフレームに十分かかるまで奥に押し込む。

※レバーがフレームに十分かかったことを確認してください。

R-S420CM・R-S420CML

① 製氷皿をセットする。
② カバーを閉じる。
③ フレームを水平にして奥まで押し込む。
④ レバーを上げる。

※レバーが確実にセット（水平）されたことを確認してください。

5 製氷 ボタンを押して、「製氷」の表示を点灯させてください。（自動製氷がスタートします）

お知らせ

●製氷皿の「フレームが奥まで押し込めない」ときは製氷皿を駆動するモータが動いた可能性があります。
一度製氷皿をはずして、フレームのみを押し込み全てのドアを閉じた状態で 製氷 ボタンを押して、「停止」に設定してください。しばらく待った後、製氷皿駆動モータの準備が完了し、取り付けできます。

長期間使わないときは

●製氷停止にして、自動製氷機をしばらくお使いにならない時は、給水タンクをよく洗い乾かして所定の位置にセットしてください。
●特に浄水フィルターはよく乾かしてください。

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

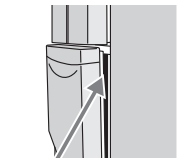
お使いはじめによくあるお問い合わせ

お使いはじめに よく冷えない 製氷できない	●夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。 →設置直後は、**24時間以上**かかることがあります。 ●お使いはじめは、庫内が冷えてから製氷運転を開始するために時間がかかります。 食品の量やつめかたにより、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることがあります。 →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。 →食品はすき間をあけて収納してください。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

操作部が反応しない

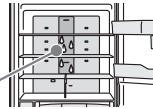
操作部が反応しない	●操作部ロック機能で「設定」が選択されていませんか？ ➔P.33 ●冷蔵室ドアを開けていませんか？閉めてから操作してください。

自動製氷がうまくいかない

氷がまったく できない	●給水お知らせサインが点灯していませんか？ ➔P.19 ●自動製氷機の設定が「停止」になっていませんか？ ➔P.18 ●給水タンクが「タンクセット位置」の線を越えるまでしっかりと押し込まれていますか？ ➔P.18 ●製氷ケースに氷以外のものが収納されていませんか？ ➔P.19 ●氷が部分的に最大貯氷目安線を越えてたまっていませんか？ ➔P.19
氷がなかなか できない 製氷皿に水が 入らない	●ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？ 庫内が十分に冷えていないおそれがあります。 →庫内が冷えるまでできるだけドアの開け閉めを少なくしてください。 →収納している食品同士の間隔をできるだけあけてください。 ●冬場は氷ができるまでに1回あたり4時間以上かかることがあります。 ●「停止」の設定から「製氷」の設定に変更した直後は、通常より氷ができるまで時間がかかることがあります。 ●食品や袋がはさまり、冷凍室や製氷室が半ドアになっていませんか。 →扉を閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●「節電」モードになっていませんか？「節電」モードを解除してください。➔P.9
氷に突起ができる	●製氷皿の溝部分に溜まった水が凍ったものです。異常ではありません。
貯めた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	●長期間古い氷を貯めたままだと、自然に小さくなったりくっついたりします。 ●ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか。庫内の温度が上がり、貯めた氷が小さくなったりくっついたりします。 ●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。
できあがった氷が 小さい	●給水タンクの水が残り少なくなると、小さな氷ができることがあります。 →給水タンクの満水線まで水を入れてください。➔P.18

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

自動製氷がうまくいかない（つづき）

できあがった氷が はじめからくっつ いている	●フレームが正しい位置にセットされていないと、くっついた氷ができることがあります。➔P.25 ●製氷皿に傷がつくと、氷ができたときに製氷皿からはがれにくくなり、割れた氷、くっついた氷ができることがあります。何度も同じことが起きる場合は、販売店にご相談のうえ、製氷皿を交換してください。
氷に白いにごりが ある	●水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられた為です。 →異常ではありません。 ●ミネラルウォーターで氷をつくりましたか？ →水に含まれるミネラル分が凍って白くにごることがあります。 水に溶けても白くにごることがありますが、害はありません。
製氷皿のフレーム が引き出せない	●「製氷」表示が点灯していませんか？ →自動製氷機が動作している間は引き出せません。「停止」に設定してください。 「停止」表示が点滅したときは、約1分間待って「停止」表示が点灯してから引き出してください。➔P.25

冷えない

冷えない 霜・露がつく アイスが やわらかい	食品の収納状況を確認	●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でドアパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納する食品の高さに注意してください。➔P.16,20 →食品はすき間をあけて収納してください。➔P.13 ●上段フリーザーケース、薄物ケースがきちんと取り付けられていますか？ →きちんと取り付けてください。➔P.23 ドアパッキングにすき間が発生している状態
	設置を確認	●冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。正しく設置されているかご確認ください。➔P.6
	設定を確認	●「節電」モードになっていませんか？「節電」モードを解除してください。➔P.9 ●温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。 →よく冷えない部屋の温度設定を「中」または「強」に変更してください。 ➔P.14,17,20 ●夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？ →よく冷えない部屋の温度設定を「強」に変更してください。➔P.14,17,20
	冷蔵庫の使い方を確認	●冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

霜や露がつく

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
庫内や引き出しの枠に霜や露がつく	●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。 →引き出しやドアを閉める際はぴったりしまっているか確認してください。 ●開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。 ●外の暖かい空気が庫内やドア枠に触れると霜や露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。 ●ドアを開閉したときに、空気中に含まれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。
冷蔵庫の外側に露がつく（外装、ドアパッキング、ドア、引き出しなど）	●雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。 ●結露防止用ヒータを弱くしたとき、湿度が高いときはしきり鉄板部、ドアパッキング、ドア部に露がつく場合があります。➔P.32 ●温度設定が「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。温度設定を「中」にしてください。
冷蔵室の中が結露する	●ドアの開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。 結露
野菜室の中が結露する	●野菜室は他の部屋より湿度が高くなっています。（野菜を乾燥させずに長持ちさせるため） →気になるときはラップをかけて収納してください。 ●結露が多くなると野菜室のケースなどに水が溜まる場合があります。 →乾いた布でふき取ってください。

冷え過ぎる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
冷え過ぎる 凍ってしまう	●温度設定が「強」になっていませんか？→「中」にしてください。➔P.14,17,20 ●周囲温度が5℃以下ではありませんか？→周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度設定を「弱」にしてください。➔P.14,17,20 ●冷気吹き出し口の手前には置かないでください。

ドアの段差や傾きが気になる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
ドアに段差がある ドアが傾いている	●設置場所が水平でない可能性があります。床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈むなどによりドアがずれることがあります。 →性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。➔P.6 →冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。
ドアを閉めた直後開けようとすると重い	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。
ドアを閉めると他のドアが開く	●各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

音が気になる

冷蔵庫から聞こえる音がうるさい

●正しく設置されていない可能性があります。

原因	処置
床がたわんでいる	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。➔P.6
冷蔵庫が壁や家具などに当たっている	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。
脚カバーがはずれている	脚カバーをしっかり取り付けてください。➔P.6

●ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。
→十分に冷えれば音は小さくなります。
夜間や留守中など、長時間食品の出し入れがない場合は、圧縮機が低速で運転しますので、振動が大きくなることがあります。
●設定が「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」になっているときは、コンプレッサーやファンモーターが高速運転をするため、音が大きくなります。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
運転音が長い	●コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているためです。
ときどき音が大きくなる	●庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。

その他 このような音が聞こえたときは

●次のような音は正常な動作のときに発生するもので、異常ではありません。

DVD で音を聞くことができます

音の種類	音の発生源
・水の流れるような音（チョロチョロ） ・衝突するような音（コツコツ） ・沸騰するような音（ボコボコ） ・肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。
・きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときや、真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。
・何か引っかかるような音（コトコト） ・うなるような音（ブー） ・扉を閉めた直後の音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や真空ポンプが動作する音です。
・自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷が離れるときや製氷皿に水を入れるときの音です。給水タンクが空のときも2～3時間ごとに音がします。 製氷 ボタンを押して「停止」にすると、音がでなくなります。➔P.18
・ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転を始めるときの音です。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

操作部の「⊶」表示などが点滅している

操作部の「⊶」表示などが点滅している

●自動製氷機・温度制御または霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。
●下表の内容をご確認いただきそれでも点滅が消えない場合や点滅パターンが違う場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

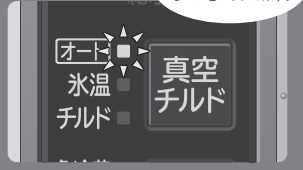
表示点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと
「⊶」3回点滅	製氷皿に、食品などが当たっている可能性があります。	製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。➔P.24
「⊶」点滅（3回点滅除く）	異常があることをお知らせしています。	お買い上げ販売店にご相談ください。
「オート」または「チルド」または「氷温」点滅	真空機能が正常に動作していない可能性があります。	「真空チルドが気になる」をご確認ください。➔P.31
	サービスマンの動作確認用モードになっている場合があります。(※1)	約15分後に通常モードに戻ります。ご使用上問題ありません。
「急速製氷」「製氷」「停止」点滅	製氷おそうじを行なっています。	「自動製氷機のお手入れ」をご確認ください。➔P.24
「停止」点滅	製氷途中で製氷「停止」した場合に点滅する場合があります。	「製氷皿をお手入れする」をご確認ください。➔P.25
全ての表示が点滅	ドアが1分以上開放状態になっています。(半ドアなど)	「ドアアラーム」をご確認ください。➔P.33

※1 ボタンを長く（10秒以上）押し続けると動作確認用モードになる場合があります。

冷蔵庫が熱くなる

冷蔵庫の側面が熱くなる
足元から暖かい風が出る

●冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。
→設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。
安全および性能上問題はありませんが、手をふれないでください。

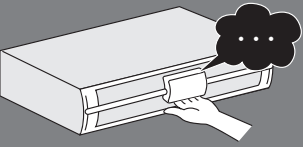
においが気になる

氷がにおう

●給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？
→「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。➔P.24
●水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。

庫内がにおう

●においの強い食品をそのまま収納していませんか？
→脱臭機能は全てのにおいを完全に取り除くことはできません。
ラップをかけるなど密封して収納してください。

プラスチックのにおいがする

●庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

真空チルドが気になる

「オート」・「氷温」・「チルド」のいずれかの表示が点滅するとき

真空機能が正常に動作していないことがあります。つぎのことを確認してください。
●ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？
→ロックされていないと真空になりません。
●真空パッキンと受け部の間に食品の包装、糸くずなどの挟まりはありませんか？
→わずかな食品カスが挟まっていても真空になりません。取り除いてください。
●真空パッキン・真空パッキン受け部の汚れはありませんか？
→汚れているときはふき掃除をしてください。➔P.12
●真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいませんか？
→ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。

開けるとき、“シュー”と音がしない

●真空パッキン部に食品の包装などが挟まったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？➔P.12
→食品の包装が挟まったときは、取り除いてください。
→汚れた真空パッキンはお手入れしてください。
●真空パッキンやハンドル下部にある真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいませんか？
●「オート」・「氷温」・「チルド」のいずれかの表示が点滅していませんか？
●ハンドルが上に上がっていませんか？
●真空チルドルーム開閉直後は、真空ポンプが動作を始める準備状態となるため“シュー”と音がしないことがありますが、故障ではありません。

真空解除弁

真空になっているかわからない

●開けるときに“シュー”と真空解除音がすれば、正常です。

ハンドルのロックができない

●真空パッキン部や真空チルドケースの奥に食品などが挟まっていませんか？➔P.12
●真空チルドケースのドアとケースがはずれていませんか？➔P.12

真空チルドルームの周りからの“ブーン”という音と振動がする

●真空にするためのポンプの動作する音です。異常ではありません。
●夜間など音が気になるときは、真空ポンプの動作を停止することができます。➔P.11
●音や振動がひんぱんにあるときは、ドアに物が挟まっているか真空パッキンが汚れている場合があります。➔P.12

真空チルドルームの内部やドア周辺に水滴や霜がつく

●真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に露や霜がついたりします。
→水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。
→水滴や霜が付いた場合はやわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。

真空チルドルームの食品が凍る

●ナスやキュウリなど低温に弱い野菜を収納していませんか？➔P.10
●設定が「氷温」や「全消灯（真空切・氷温）」になっていませんか？➔P.11
→「チルド」に設定してください。

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
その他	
本体に触れるとわずかに電気を感じる	●冷蔵庫が静電気を帯びる場合がありますが、安全上問題はありません。 →気になる場合はアース工事をおすすめします。➔P.7
テレビ・ラジオなどに雑音、映像の乱れが生じる	●この冷蔵庫から極わずかに発生する電磁波のためです。 →テレビ・ラジオ・インターフォンなどから離して設置してください。 →電源はアンテナ線などから離れたところからとり、アース工事をおすすめします。➔P.7
プラスチック部品に傷のような細い線がある	●プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
扉面や側面・天面に波打ちや歪みがある	●冷蔵庫の製造工程上、波打ちや歪みが生じます。 光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、性能上は問題ありません。
操作部が消灯している	●操作終了後、約2分後に節電のため表示が消灯します。但し、「急冷凍」「急冷蔵」「節電」「急速製氷」表示及び給水お知らせサイン、〔eco運転サイン〕は消灯しません。 点灯させるには冷蔵室ドアを開けるか、いずれかのボタンを押してください。
ドア内側に小さな穴が開いている	●この穴は冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がすための穴です。傷や異常ではありません。 穴（ドア内側）
停電した	●復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。 ●停電復帰した後は、操作部の設定をご確認ください。
長期間使わない	●庫内のものを全て出し、電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをしてください。 2～3日間全てのドアを開けて乾燥させてください。➔P.18,21～25
氷をつくらないときは	●「氷をつくらない（製氷停止）」をご覧ください。➔P.18
霜取りをする	●この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。 解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
移動・運搬をする	●「移動・運搬の準備（引っ越しをする）」をご覧ください。➔P.7
結露防止用ヒータ〔しきり鉄板部〕を弱くして節電をしたいとき しきり鉄板部	●湿度が低いときに設定すると、節電することができます。 結露防止用ヒータ弱設定は、４段階に設定することができレベル４が最も節電できます。 結露防止用ヒータを弱くしたとき、湿度が高いときはしきり鉄板部に露がつく場合があります。露が付くときは設定を解除してください。 ●電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は設定が解除になります。 ●しきり鉄板部の設定 1.冷凍室下段ドアを開ける。 2.冷蔵室ドアを閉めた状態で操作部の 節電 ボタンを"ピーッ"音がするまで3秒以上押しつづける。（レベル1） 3.節電レベルをさらに変更したいときは、2の操作を繰り返してください。 4.冷凍室下段ドアを閉める。 3秒以上押しつづける 設定を解除するときは、レベル４の状態で１、２の操作をしてください。 アラーム音が"ピピッ"と鳴り設定が解除されます。
温度をもっと細かく調節したいとき	冷蔵室と冷凍室の温度設定は「弱」「中」「強」をさらに細かく９段階に調節することができます。 1.冷凍室下段ドアを開ける。 2.操作部の 冷蔵 ボタンを"ピーッ"音がするまで5秒以上押しつづける。（細かい調節が可能となります。） 3.冷凍室下段ドアを閉める。 4. 冷蔵 冷凍 ボタンを押して調節する。1回押すごとに１段階強くなります。（「強」で押すと「弱」に戻る。） 5.細かい調節をやめたいときは、1と2の操作をしてください。 アラーム音が"ピピッ"と鳴り、通常の調節に戻ります。

〔eco運転サイン〕・ドアアラーム・音量調整・操作部ロック

ご注意 ●設定は全てのドアを閉じた状態で行ってください。➔P.8

〔eco運転サイン〕

フロストリサイクル冷却時など、消費電力量を抑えて運転しているときに、自動で点灯して省エネ運転をお知らせします。

お知らせ

〔eco運転サイン〕

●〔eco運転サイン〕が点灯しない場合は、以下の理由が考えられます。
- 〔eco運転サイン〕を消灯する設定になっていませんか？ →下記の元に戻す方法を行ってください。
- 設置直後や一度に多くの食品を収納したとき、ドアの開け閉めが多いときはコンプレッサーの運転が高速になり、点灯しません。→ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。
- 「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」が運転しているとき →運転終了後、冷蔵庫の運転状況が安定すれば点灯します。
- 「野菜室強」が運転しているとき →「野菜室強」を止めてください。➔P.20
- 冷蔵庫周囲の温度が約35℃以上の場合は、消灯します。

●電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は、〔eco運転サイン〕を表示する設定に戻ります。

夜間など表示が気になる場合は〔eco運転サイン〕の表示を消灯することもできます。

■消灯の方法

全てのドアを閉めて 真空チルド ボタンを〔eco運転サイン〕が点滅するまで３秒押しつづける。

⬇

〔eco運転サイン〕が消灯します。

３秒押しつづける

■元に戻す方法

全てのドアを閉めて 真空チルド ボタンを〔eco運転サイン〕が点灯するまで３秒押しつづける。

⬇

〔eco運転サイン〕が３秒点灯します。その後運転状態により点灯または、消灯します。

３秒押しつづける

ドアアラーム

ドアの開放状態が30秒以上になると、下表のようにアラーム音が鳴り、操作部の表示が点滅し、音と光でドアが開いていることをお知らせします。
また、ドアの開放時間が3分以上になると、ドアアラームの音量を大きめにして、ドアが開いていることをお知らせします。

ドアの開放時間	アラーム音	操作部
30秒後※	ピーッピーッピーッ	点滅しない
1分後	ピーッピーッピーッ	点滅
2分後	ピーッピーッピーッピーッ	点滅
3分後	連続で鳴り続けます。	点滅

※30秒後は、「節電」モード設定時のみドアアラームが鳴ります。
ドアアラーム機能は、冷蔵室、製氷室、冷凍室下段についています。
（冷凍室上段、野菜室にはついていません）

音量調整（ドアアラームと操作音）

■音を大きめにしたり、音を鳴らなくする設定にすることができます。（ドアアラームと操作音）

1.全てのドアを閉めて 冷却モード ボタンを"ピーピーッ"と鳴るまで３秒押しつづける。（音が大きめになります）
2.音が大きめの状態で 冷却モード ボタンを"ピーッ"と鳴るまで３秒押しつづける。（音が鳴らなくなります）
設定を解除するときは、音切の状態で同じ動作をしてください。音が"ピピッ"と鳴り設定が解除されます。

お知らせ

●ドアアラームと操作音の片方のみを音量調整することはできません。
●音を鳴らないようにすると、操作部の表示の点滅も行いませんが「製氷おそうじ」のアラームは鳴ります。
●出荷時は、音が鳴る標準状態に設定されています。
●電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は音が鳴る標準状態に戻ります。

操作部ロック

⊸O（操作部ロック）表示が点灯しているときはその他のボタンを押しても切り替わりません。
操作部の誤操作や、小さなお子さまのいたずらを防止することができます。

■ロック設定

全てのドアを閉めて 節電 ボタンを"ピーッ"と鳴るまで約３秒押しつづける。

⬇

⊸Oが点灯し、設定が完了します。

３秒押しつづける

■ロック解除

全てのドアを閉めて 節電 ボタンを"ピピッ"と鳴るまで約３秒押しつづける。

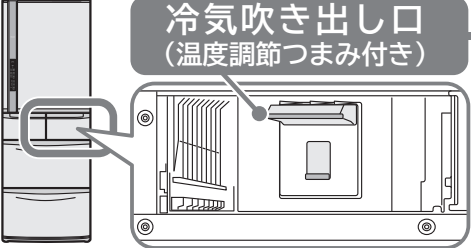
⬇

⊸Oが消灯し、解除設定が完了します。

３秒押しつづける

お知らせ

● 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は操作部ロックが解除される場合があります。

消費電力量・冷凍室の性能・冷凍室上段の温度調節方法

冷蔵庫の消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801（2006年版）で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801（2006年版）消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫 「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室 －18℃以下	冷蔵室 4℃以下	冷蔵室 4℃以下	冷凍室 －18℃以下
ドア開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5%　15℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量（kWh／年） （周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計）			

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室下段の性能は ✱✱✱✱（フォースター）です。
冷凍室上段の性能は ✱✱（ツースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。
■ JISの試験方法は次の通りです。
●冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。
●冷蔵庫の設置場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
●冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	✱✱✱✱ フォースター	✱✱ ツースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下	－12℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月	約1ヵ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

冷凍室上段の温度調節方法

■冷凍室上段は、冷気吹き出し口の温度調節つまみを上下にスライドさせることにより、温度を調節することができます。
（温度調節つまみのスライド操作は、冷凍室上段ドアをはずしてから行ってください。➔P.23）

「約－20～－18℃」※1 に設定
（出荷時はこの位置になっています）

「約－16～－12℃」※1 に設定

「約－20～－18℃」※1 に設定した場合

●食品保存庫として

●急冷凍機能をお使いのとき
食品を素早く冷凍したいとき

・出荷時は「約－20～－18℃」設定となっています。
・冷凍室上段で「急冷凍」機能を利用する場合は、温度調節つまみを下げた状態でご使用ください。

「約－16～－12℃」※1 に設定した場合

●一時的な食品保存庫として
●冷凍フルーツをつくるとき
糖度の高いフルーツで冷凍フルーツをつくり、お召し上がりいただけます。

・お好みでお使いください。
・みかん、グレープフルーツなどは、効果がありません。

・「約－16～－12℃」に設定した場合は、冷凍室上段で「急冷凍」機能を利用できません。アルミトレイを冷凍室下段の薄物ケース左側に移動して、急冷凍コーナーとしてお使いください。➔P.16

お知らせ
●消費電力量は、冷凍室上段の温度調節つまみを上げて、冷凍室上段温度を「約－16～－12℃」に設定して測定しています。
●「約－20～－18℃」に設定した場合、消費電力量が高めになります。
※1 周囲温度30℃、ドア操作パネルの冷凍室温度調節「中」で、食品を入れずにドアを閉め温度が安定したときの目安です。温度調節の設定や使用状態により変動します。

仕様・収納できる食品の重さ・別売部品

仕様

型式		R-S500CM R-S500CML	R-SL470CM R-SL470CML	R-S420CM R-S420CML
種類		冷凍冷蔵庫		
定格内容積	全体	501L	470L	415L
	冷蔵室	261L	230L	215L
	野菜室	92L〈 60L〉	92L〈 60L〉	75L〈 48L〉
	冷凍室	148L〈 78L〉	148L〈 78L〉	125L〈 64L〉
外形寸法	幅	620mm	620mm	600mm
	奥行	733mm	733mm	669mm
	高さ	1,818mm	1,735mm	1,798mm
定格電圧		100V		
定格周波数		50/60Hz 共用		
電動機の定格消費電力		88W	83W	83W
電熱装置の定格消費電力		146W	146W	144W
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。		
質量		98kg	96kg	87kg

●「定格内容積」は、日本工業規格（JIS C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
●〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室（野菜室，冷凍室）の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

収納できる食品の重さ

	部品名	R-S500CM R-S500CML	R-SL470CM R-SL470CML	R-S420CM R-S420CML
冷蔵室	高さかわるん棚上段	16.0kg	16.0kg	13.5kg
	高さかわるん棚中段	16.0kg	16.0kg	13.5kg
	高さかわるん棚下段・固定棚	16.0kg	16.0kg	13.5kg
	真空チルドルーム上の棚	8.0kg	8.0kg	7.5kg
	真空チルドケース	3.5kg	3.5kg	2.5kg
製氷室	製氷ケース（自動製氷機でつくった氷以外は入れないでください。➔P.19）			
冷凍室上段	上段フリーザーケース	4.0kg	4.0kg	3.0kg
冷凍室下段	薄物ケース	4.0kg	4.0kg	3.5kg
	小物ケース	6.5kg	6.5kg	5.5kg
	大物ケース	11.5kg	11.5kg	10.0kg
野菜室	ひろびろ上段ケース	6.5kg	6.5kg	5.0kg
	下段ケース	13.0kg	13.0kg	11.5kg

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

自動製氷用浄水フィルター

●古くなったら交換してください。
（約3～4年が目安です。）
●部品番号　RJK-30

真空パッキン

●破損・変形・変色して真空状態が保てなくなったら交換してください。
●冷蔵庫型式ごとの部品番号

	部品番号
R-S500CM・R-S500CML	R-S50AM　321
R-SL470CM・R-SL470CML	R-S50AM　321
R-S420CM・R-S420CML	R-S420CM 311